

—犯罪者引き渡し条約締結を求めて市内16万人が署名—

去る6月に佐鳴台地区自治会連合会から住民の皆さんに「ブラジルとの犯罪者引き渡し条約締結に向けた署名のお願い」が回覧形式で回り、6月末までに各自治会単位で回収されて浜松市自治会連合会へ皆さんの署名簿が送られていましたが、その結果につき、8月16日付けの日経新聞紙上で次のような記事として報道されましたので、参考までに掲載します。

『浜松市自治会連合会は、15日、5月から取り組んできたブラジルとの犯罪者引き渡し条約を求める署名が16万人分集まったと発表した。8月18日で活動を終え、家族がブラジル人による犯罪被害にあった三上利江さんに手渡す。三上さんは署名をもとに外務省などに条約締結を訴えかける。自治会連合会では5月に三上さんが住む龍禅寺町自治会から、三上さんらの署名活動への協力要請を受けた。各自治会を通じて多数の署名が集まったため、18日までの分を最終として、署名活動に区切りをつける。』との記事内容です。

なお、被害者遺族や在日ブラジル人集住地域関係議員懇談会(地元議員を含む)が、7月に麻生外務大臣と面会して26万人分の署名を提出していますので、今回の自治会による署名を遺族から外務省に提出すれば3度目の署名提出となります。

(H18.08 編集子)